

夢の中まで

内田 縁

月明りの庭で
君の名前を呼んでいた
いつも傍にいて
男と女の国境もない
大切な友達だった

ひきかえしても
ふりかえっても
戻って来ない
胸を突くような別れは
あまりにも突然で
夜風にゆれた
白い花房の
月影をみつめていた
暑く長い夏を越え
トランペットリリーは

人も花も
いつか返っていく
土に向かつて
どこまでも

その這うような香りに
未送信の文字だけは
奪われないように
わたしの指先が

明日からの
夢の中へ持つてゆく
月明りに
ふと目の前を
君が過ぎつていく
この手のひらに
おやすみなさいをのせて